

## ①4月中旬映像

なぜ春花は、まだ子馬の名前は考えていないの?」決めていゑる風」「まだ言わないよ」「言ったの?」

## ②4月下旬映像

なぜ勇太と陸は何も言わずに、困ったような顔をして、春花の方をじっと見ていたの?」

(名前を聞きに来たのに何で聞かないの?)

A春花の様子に困っている 11人

B名前を知らなくなったこと困っている。 3人

## Bの立場の子の意見

T1セツかく言ってるから、なおちゃんがしゃべってるときに、みんながどんな反応してるか分かるような聴き方して。えらい。  
こゝろいう雰囲気好きやで。

C2名前知りたからさ、来たやん。(なお)

C3うん。(あすみ)

T2ちゃんと「うん」って言ってる。あすみちゃんえらい。

C4うん。(じゆう)

C5ちよつと名前引かされてゑ...。(あすみ)

C6名前知りたから来たやんか。だから、名前を知らへんくて、困ってる。(なお)

CCあゝ

T3来た目的が、名前を知るためってことでいい?

C7あ、でも確かに、そんな気もした。(あすみ)

T4あ、りゆうくん、今日は...

C8回言ってるの!(なぜか荒ぶる)(りゆう)

T5いいよ。なおちゃんの聴いて、すごく、ああ、そうかもしれへんって反応は、素晴らしい。来た目的が名前を知ることやからやな。

C9あゝそつかそつか。(あすみ)

T6まず、なおちゃんがこっちの立場で意見言ってくれたけど、あとの3人の人、付け足しなどありますか?はい。しゆうきん。

C10なおとほぼ同じなんやけど、来た目的が名前を知ることなのに、名前を知らなくなると、困ったと思う。(じゆう)

C11ほぼ同じってどうか、同じ。(じゆう)

T7いいよ。いいんやで、人と同じって言うってことは、それだけ大事に聴いてたってことやからな。ゆうなちゃんも同じ感じかな?はい。じゃあ、こっちの11人の方が多かったけど、こっちに手を挙げたのは、なんでやる?

C12先生先生、あすみ、名前知れなくなったからに移動していい?(あすみ)

C13お、4対10や。(けんたろう)

T8変わりたいってこと?

C14ゆづき。(あすみ)

C15やほごよ。(じゆう)

T9なおちゃんとかしゆうくんの意見が説得力があったんやな。

C16先生5対9やで。(ゆづき)(けんたろう)

C17でもまだまだ。(あすみ)

## Aの立場の子の意見



挙げてな。

**支持確認**

無理やり 13人 無理やりのじゃない 1人

T17 こな、いいところに注目してる。明るい声が無理やり出してるんやったら、春花は、残念がってたり悲しんでたりするんやから、こっち(A)やな。でも、春花は別に、ほんまに明るい声で吹っ切れてそんなに困ってないんやったら、春花の様子にどうしよってならへんやんか。だからこっち(B)やんかな。春花の明るい声が無理やりか、無理やりじゃないか。

C39 ほんじゃあこの一文だけで変わるやん。言い方やな。「いいんですー」か「いいんです」か。(こうせ)

C40 けん、じいじい経験あるねんかな。(けんた)

(カフトムシの話を聞いて、じいじいはそれに反応していたが、こっちはそれに気づかず放置していた)

**明るい声は無理やり出しているという証拠の文は??**

T18 おお、こうせいくんよう考えてる。これな、言葉に注目したら、これ無理やり出してると思うでっていうのか、これは自然な明るさやと思うでっていうのがもうちょっと、今よりも深く考えられるので、無理やりと思うんやったら、けんたろうくんはこの線で無理やりっていうのを思ったけど、無理やりっていうんやったらここもじゃないの?とか、見つけられたらいいな。

C41 はい。ある。(けんた)

C42 たぶんけんちゃんと同じ。24ページ。(こうせ)

C43 24。24。(けんた)

T19 あ、はるまくんも何か・・・1ページ戻ること?ここら辺にあるってこと?

C44 せんせいせんせいせんせい。テイクワンワンワン。(こうせ)

C45 じゃあせんせい、ゆっきさん。(けんた)

T20 お、ええなあ、そういうの。ゆうきちゃんの声聴いてないから言ってみて。

C46 24ページの、春花は黙ったまま、柵から突き出た子馬の鼻に触ってみたって。(ゆっき)

C47 それそれぞれ。(こうせ)

T21 おくそこが気になった人、手挙げて。多いなあ。

C48 じいじいじいじいじい。(こうせ) (そうだが教える)

C49 (こうせい・けんた) 自分の意見言いたそう

T22 今のどかってどかって教えてって言うるこうしくんすごいやん。さっき違う本読んでたと思うけど。今めっちゃ授業に戻って来てる。(こうせい拍手) (こうしちょっと我慢げ) 何でそこが気になったのかまで詳しく言える?こうせいさん。

C49 春花は黙ったまま、子馬の鼻に触ってみたっていうことば、たぶん、今ちょっと落ち込んでるねん。あの、横の絵にも悲しそうな顔してる。(めんね) 言われて落ちて込んで・・・子馬めんねみたいな感じやと思っ。(そ) 一回落ち着いて次のページで、おはさんに教えてくれるって言われて、「いいんですー。それなら仕方ないですね。」って言ったとばへ

は思いません。(こうせ)

T23 こうせいくんの意見についてどう思いますか?

C50 同意。(けん)

C51 いいと同意。(けん)

C52 完璧や。これどつどつが対抗してておはなはぶらぶらして。(こうせ)

T24 この文の中の、特に「だまったまま」? (こうせい)「だまったまま」ってどこ(が注目ポイントってことな。

C53 あ、なんか、たぐとから今言われたんですけど、触ってみたって「みた」があるって。(けんた)

C54 あー!! (こうせ)

T25 おお! たくとくん、ナイス。前勉強したもんな。「〜してみる」って。

C55 けんもそれは思った。(けん)

C56 ほんとは触りたくないらんじゃあないっ? 気持ち悪くはないか。(お)

C57 気持ち悪くはないや。(けんた)

C58 触ったとかなかって。(こうせ)

T 26 「みた」ってどういう時に使うんやっただけ？

O56 やったことがなす。(111せす)

O60 「みた」はチャレンジ。挑戦。(けんたせん)

T 27 そう、よう反応するなあ、けんたろうくんもこうせいくんも。みんなも覚えてる？なんでここでチャレンジするんやろうな。  
わざわざ。

O61 悲し。(あじわ)

O62 本当は触りたくなさけど・・・。(なる)

O63 触る必要はなかったけど、もう行ってしまうから、最後に触ったことになったんや。(111せす)

O64 そう、おじいちゃん色。(けんたせん)

T 26 じゃあ、しゅうくん、春花は別に無理して明るい声は出してないよって立場はしゅうくんやっただんやけど、黙ったまま、別に今チャレンジしてみる必要がないのに、さわってまた書いてあるのは・・・

O65 でも、それなら吹っ切れた感じもあるんじゃない？(あすみ)

T 27 ああ、いいよ。新たな意見。

O66 でも、触ってみたってお別れみたいな感じでさ、触ってみたんちゃう？(いろね)

O67 お別れみたいな感じで、もう会えへんから、触ってみたみたいな感じやっ。(111せす)

O68 各々近くの子と話して自分の考えを述べる。

### <振返り>

・それまでに、なんで昨日は興味なさそうだったのに、勇太は「名前なんてつけるんだ。」と聞いたのかという問題が出され、勇太の大変化から、勇太の心情を捉えていた。子馬の名前に勇太も興味を持っていたにも関わらず、春花とどう接していいか分からないことから、そっけない態度だったが、今日は春花の親しくなろう作戦が成功し、勇太から勇気を出して聞いた(親しくなるきっかけを勇太がつかもとした)と読んでいたが、本時の予想の段階で勇太の困り感に「春花と親しくなるきっかけがなくなったから」とは出てこなかった。そもそも、陸もも困ったような顔をしているので、そこまで深い読みをしなくてもいいのかもしれないが、今までの学びをつなげて考えることができているのは、子どもたちの中で、それが大した問題となっていないからではないかと考えられる。

・子どもたちは、全員ではないが、友だちの考えを聴いて自分の考えを持ち、受け身ではなく授業に参加しようという意識が育っているように感じる。

・①の映像と比べると、②の方が、みんなで考えを深めようという姿勢がうかがえる。机を寄せるのは、子どもたちに好評だった。

・授業者として、この場面は、春花が出す明るい声は、子馬の鼻に触ってみた結果であり、名前をつけられなくなったショックを子馬の生きている温かみからやわらげられることができた解釈している。(解釈の会にも参加させてもらったが、はっきりとさせたいところでは、自分なりの解釈でやりました)そのため、勇太と陸の困り感は、その春花の心情を行為や声色から感じ、軽はずみにつけようとおもっていた名前を教えるとは言えないこと(勇太にとっては親しくなるきっかけをなくしたこと)にあるという結論にもついてきたかったが、C65で、触ってみた結果、もう吹っ切れて明るい声が出せたという意見もあり、どうやって終わったらいいかわからなくなった。結局、ルーレンウィークをまたいで、子どもたちの授業への記憶が薄れているのをいかにして、春花の明るい声は心からの声ではなく、勇太と陸は、そんな無理をして明るくしている春花の様子に、どうしたらいいかわからなくなっているのとまとめて、次の場面へすすんだ。

②③④のビデオは、ルーレンウィーク前後になっていて、②③④の間の国語の授業はな、へ、続きです。あまの変化(成長)を感じられませ。(。)





・折の紙の馬を、春花を慰めるために渡したと読んでいる子が多数の中、ＣＯの意見から、それで春花の心が満たされるはずがないという意見を引き出し、そこから「じゃあ何のために渡したんだろう」と戻って、「なまえつけて呉」「の意味をさしたかったが、結局、折の紙の馬をくわえたことに対する感謝を春花は持っている」と読んでいる子が多くなりました。教師の側からも「おまじなびんをかけるへんまだった。」(大を飼えるはずだったのにな、やっぱり飼えなくてかわらぬぶんみ渡したから、それで済むがっつり思っいな)

・これ以上授業時数的にこの教材を扱う余裕もモチベーションもなく、最後の場面の学習を通して、自分はどんな読みをしたのかを書かせて終わった。子どもたちの意見を活かしてきれていない(24のわだわだ勇太を探して見つけるほど)、ありがたうと伝えたい気持ちがある等(ので、このまま見切れない)で終わっているのかとも思うが、子どもたちの方のエネルギーも切れてきて、「この授業の前」井田なまえつけて呉るをさっさとごうごう子ども声があつた。

・反論や、文で即した読みができてくることなら、そのことが学習において自分たちの力を高めるための素敵な姿であることとを、もっと褒めて、価値しけるへんまだったと感じてゐる。